

## 1 議事日程

[平成24年太宰府市議会 予算特別委員会]

平成24年2月27日

午後1時00分

於 全員協議会室

- 日程第1 議案第18号 平成24年度太宰府市一般会計予算について  
日程第2 議案第19号 平成24年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について  
日程第3 議案第20号 平成24年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について  
日程第4 議案第21号 平成24年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について  
日程第5 議案第22号 平成24年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について  
日程第6 議案第23号 平成24年度太宰府市水道事業会計予算について  
日程第7 議案第24号 平成24年度太宰府市下水道事業会計予算について

## 2 出席委員は次のとおりである（18名）

委員長	門田直樹	議員	副委員長	原田久美子	議員
委員	陶山良尚	議員	委員	神武綾	議員
〃	上 疆	議員	〃	芦刈茂	議員
〃	小嶋真由美	議員	〃	長谷川公成	議員
〃	藤井雅之	議員	〃	後藤邦晴	議員
〃	橋本健	議員	〃	不老光幸	議員
〃	渡邊美穂	議員	〃	小柳道枝	議員
〃	佐伯修	議員	〃	村山弘行	議員
〃	福廣和美	議員	〃	大田勝義	議員

## 3 欠席委員は次のとおりである

なし

## 4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（18名）

市長	井上保廣	副市長	平島鉄信
教育長	關敏治	総務部長	木村甚治
地域づくり 担当部長	今泉憲治	市民生活部長	古川芳文
健康福祉部長	井上和雄	建設経済部長	神原稔
会計管理者併 上下水道部長	三笠哲生	教育部長	齋藤廣之
総務課長	古野洋敏	経営企画課長	石田宏二
市民課長	原野敏彦	国保年金課長	坂口進
都市整備課長	今村巧児	上下水道課長	松本芳生
教務課長	木村裕子	監査委員事務局長	関啓子

## 5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（3名）

議会議務局長 田 中 利 雄  
書 記 白 石 康 子

議事課長 櫻 井 三 郎

開会 午後1時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） ただいまから予算特別委員会を開会します。

本日の予算特別委員会は、各会計の概要説明とし、各委員からの質疑は3月13日及び14日に行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 議案第18号 平成24年度太宰府市一般会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 日程第1、議案第18号「平成24年度太宰府市一般会計予算について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（木村甚治） それでは、議案第18号「平成24年度太宰府市一般会計予算について」、お届けしております当初予算説明資料、薄い資料があると思えますけれども、その資料に基づきまして説明をさせていただきます。

それでは、めくっていただきまして、1ページから順に概要説明を行います。

平成24年度の基本的な予算編成の考え方、あるいは事業につきましては、先ほど市長が施政方針の中で述べましたので、私のほうからは事務的なものをお配りしておる資料で説明をさせていただきます。

1ページに、予算総括表を上グラフとして載せております。

一番上の一般会計、色がついておると思えますが、平成24年度の一般会計予算総額は204億3,680万2,000円となっております。昨年度の実質的な当初予算であります6月の補正後の予算と比較いたしますと4億2,194万3,000円の減額、2.0%の減額となっております。これ以下は、各特別会計等となっておりますので、後ほど各担当部長のほうでご説明いたします。

次に、2ページに歳入の款別内訳を載せております。

歳入につきましては、1款の市税ですね、市の税金すべてにつきましては総額76億3,267万9,000円を計上しております。昨年度と比較いたしますと226万8,000円、0.02%の増となっております。ただ、これの内訳は、3ページの上のほうに市税の内訳として載せておりますが、税制改正に伴いました扶養控除の見直し、そして個人市民税は前年度予算に比べて5,346万7,000円の増額、1.7%増えております。そして、法人市民税は震災関連もありまして、その関連から企業が増収したところがございますので、法人市民税が6,736万円の増加となり、15.9%増を見込んでおります。ただ、固定資産税につきましては、評価がえの結果に伴いまして1億1,468万円、3.7%の減を見込んでおるところでございます。

また、2ページのほうに戻っていただきまして、収入、以下市税からずっと並んでおりますが、大きなところで9款地方特例交付金でございますけれども、税制改正に伴う扶養控除の見直しによりまして市民税の増収分が、地方特例交付金の算出根拠となっております。減税に伴う減

取補てん分や子ども手当の支給分に振りかえられるために、前年度よりも8,300万円、89.3%の大幅な減と見込んでおるところでございます。

その下に、10款地方交付税でございますが、交付税は毎年国において策定されます地方財政計画に基づいた算定がなされております。平成24年度の地方財政計画では、昨年度と同水準を確保する見込みであるとされています。しかしながら、昨年度の太宰府市の地方交付税は、生活保護費等の扶助費に係る基準財政需要額を大きく見込んだ予算額となっておりますことから、新年度につきましては1.9%減の35億2,700万円と、昨年度よりも6,700万円の減と見込んでおるところでございます。内訳は、普通交付税が3,400万円減で32億3,000万円、特別交付税が3,300万円の減で2億9,700万円を見込んでおるところでございます。

その下、14款国庫支出金でございますが、これは前年度より6億8,849万9,000円の減と、16.9%の減となっておりますが、これは子ども手当や生活保護費の減額に伴う結果、こういう数字となっております。

次に、18款の繰入金でございますが、これは非常に大きく、102.6%増ということで4億7,979万9,000円と、昨年度よりも2億4,300万3,000円増額となりました。これは、今年度計上いたしております総合体育館建設事業のための総合運動公園整備基金からの繰り入れや、公共施設改修事業のための公共施設整備基金からの繰り入れなどの結果、こういうことになっております。平成24年度も当初予算で財源不足の補てんとしての財政調整資金の繰り入れは行っておりません。したがって、財政調整資金の残高は平成23年度末で約20億円となる見込みを立てておるところでございます。

次に、21款の市債でございますけれども、7.4%増の20億7,760万円で、前年より1億4,240万円増額いたしております。増額の主な理由は、町並み環境整備事業のための都市計画関係事業債や、交付税の補てんとして臨時財政対策債などが増えたためでございます。なお、市債の主なものといたしましては、史跡地公有化事業債が7億円、臨時財政対策債が11億4,560万円、その他緑地公有化事業、地域狭隘道路拡幅事業、公園改良事業などで借入れを予定をいたしております。

なお、新年度末の市債残高は、平成23年度末見込み額よりも3億6,000万円減少するのではないかと、数字といたしまして201億8,000万円程度になると見込んでおるところでございます。これは予算書のほうにも掲載いたしております。

4ページは、もう今申し上げました数字を自主財源、依存財源というふうに分けて構成比を示しております。市税とか繰入金の増の影響によりまして、自主財源が2.8%増加をいたしております。子ども手当や生活保護費の国庫支出金が、あるいは地方交付税の減が反映した結果、依存財源というものは5.7%減少いたしております。

次に、6ページのほうで歳出の関連をご説明いたします。

6ページには、性質別で載せております。性質別の一番上が義務的経費です。このうち人件費は、議員共済組合負担金の減、職員給与費の減、統一地方選挙のための職員手当の減などの

相乗効果で、前年度に比べまして1億2,016万1,000円の減額となっております。

扶助費は、子ども手当、あるいは生活保護費の減額によりまして6億6,959万7,000円の減となっております。

公債費は、中学校施設事業債の償還が終了したことなどに伴いまして、1億2,593万1,000円の減で計上いたしております。

したがいまして、人件費、扶助費、公債費の義務的経費総額では9億1,568万9,000円と大幅な減額となっております、この辺が新年度予算の減額の大きな要因となっておりますのでございます。

次に、物件費でございますが、3,268万7,000円の増となっております。主な要因といたしましては、統一地方選挙関係費や予防接種個別接種委託料等の減額はあったものの、事務補助員等の賃金、あるいは保険料、私立保育所運営委託料の増などのほかに、老朽化に伴います議長車の購入費用や、市民図書館図書購入費などが増額となっております、このようなことから結果的にはトータルで増となっているものでございます。

補助費につきましては、下水道事業会計補助金等の減額があったんですけれども、療育事業の推進、あるいは私立保育所の補助金、福岡都市圏南部環境事業組合負担金、あるいは消防組合負担金などが増額となったことに伴いまして、4,311万6,000円の増額となっております。

普通建設事業費につきましては、地域再生基盤強化事業の終了などに伴いまして補助事業費が減額となるものの、昭和60年に建築しましたこの市本庁舎、あるいは平成10年度に設置いたしましたいきいき情報センターなどの老朽化に対応した改修工事関係費を計上いたしております。また、総合体育館の建設事業費などに3億2,585万3,000円を計上しており、そういうことから増額となっておりますのでございます。

最後に、繰出金でございますが、後期高齢者医療関係費や介護保険事業特別会計繰出金、そして国民健康保険特別会計繰出金が増えた結果、6,969万5,000円の増額となっております。

簡単ではございますが、歳出については以上でございます。

なお、これから以降、7ページから15ページまでは主な事業を説明をいたしております。この第五次太宰府市総合計画の柱立てで主な事業をここに掲載いたしておりますので、今後の特別委員会の中でご参考にしていただければと思っております。事業内容と金額を掲載をいたしておるところでございます。

そして、最後のほうの16ページに、新年度における主な事業として大きく3つをご説明をいたしております。

1つが、市制施行30周年の記念事業の予算総額で2,950万3,000円を計上しておる部分を、ここに①から⑯まで、2月16日時点の予定で日にちと金額等を載せております。そういうところから、最新の日付で訂正してお届けをいたしておるところでございますので、ご一読いただければと思っております。

また2番目で、歴史と文化の環境税を充当しておる事業の分でございますが、今回予算総額

としては1億7,815万9,000円で、歴文税を充当したのが8,161万7,000円となっております。

そして、(3)として緊急雇用創出事業臨時特例基金事業ということで、この基金事業が本年まで継続ということになりましたもので、この分を3,506万5,000円ということで予算書の中に計上いたしております。内容としてはここに文章としてご説明をしておるところでございます。

以上、非常に簡単でございますが、私のほうからのご説明とさせていただいて、この後の予算審査の中でまた各担当よりご説明をするということでよろしくお願いたします。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第2 議案第19号 平成24年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第2、議案第19号「平成24年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（井上和雄） 初めに、委員長から福祉課長、高齢者支援課長の報告をいただきましたけど、健康福祉部が今日18名インフルエンザで休んでおります。そういったこともございまして、大変申しわけございませんけどマスクをつけたまま説明をさせていただきます。

では、議案第19号平成24年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算につきまして、ご説明を申し上げます。

まず、予算書の247ページをお開きください。予算書247ページでございます。

あわせて、先ほど総務部長が説明しました予算説明資料の1ページをご参照いただければと思います。

歳入歳出予算総額は72億264万3,000円と、前年度当初予算と比べまして2億7,615万円、率にして4%の増となっております。

予算書の253ページ、事項別明細書をお開き願います。

まず、歳入でございます。

1 款の国民健康保険税につきましては、平成22年度の決算額、平成23年度の調定、収入状況等を参考に算定しております。社会構造の変化や高齢化に伴いまして加入者の所得は減少しておりますが、団塊の世代の退職に伴います国保加入等によりまして被保険者数は伸びてきておりますことから、前年比1%増の15億6,257万1,000円を計上しているところでございます。

3 款療養給付費交付金につきましては、企業などを退職し、国民健康保険に加入された退職被保険者の保険給付費につきまして交付されるものでございまして、団塊の世代の国保加入によりまして医療費の増加から、73.5%増の4億8,421万5,000円となっております。

4 款前期高齢者交付金につきましては、65歳以上75歳未満の前期高齢者の医療費につきまして被用者保険から国保に拠出をしていただき、医療保険者間の負担の不均衡を財政調整するた

めの交付金でございます。過年度交付額の調整がまだ確定しておりませんので、前年度と同額の14億609万1,000円を計上しているところでございます。

6款共同事業交付金につきましては、高額医療費を各保険者が交付と拠出によって市町村国保の平準化を図っているものでございます。前年度に比べ2.7%増の8億5,817万8,000円を計上しているところでございます。

次に、254ページをお開きください。

歳出でございます。

2款保険給付費は歳出総額の約68%を占めております。高齢化や医療技術の進歩に伴い医療費が増加しておりますので、前年度より3.4%増の48億7,926万8,000円を計上しているところでございます。

3款後期高齢者支援金等につきましては、後期高齢者の給付費の現役世代の負担金でございます。これには、後期高齢者の医療費が増加しておりますので、前年度に比べまして6.5%増の8億2,150万7,000円を計上しているところでございます。

7款共同事業拠出金につきましては、歳入でも出ておりましたけど、高額医療費に対します保険者間の財政負担の平準化を図るための拠出金であります。医療技術の進歩などに伴い拠出金も年々増加しております。前年度比5.9%増の9億4,681万4,000円を計上しているところでございます。

国民健康保険事業は、年齢構成や財政基盤などの構造的な問題を抱えておりますので、財政運営は依然として厳しい状況が継続するものと考えられます。今後とも、医療費の適正化を図るとともに、社会保障と税の一体改革など国の動向を十分に注視しながら、国民健康保険事業の安定的運営に向けて努力をしてみたいと思っております。

よろしくご審議、ご承認賜りますようお願い申し上げます、説明を終わらせていただきます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第3 議案第20号 平成24年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第3、議案第20号「平成24年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（井上和雄） 議案第20号「平成24年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」、ご説明申し上げます。

先ほどと同じく予算説明資料の1ページ、また予算書は289ページからになります。

歳入歳出予算総額は9億7,098万6,000円と、前年度当初予算額に比べまして8,121万3,000円、9.1%の増となっております。

まず、歳入でございます。

1 款の保険料につきましては、対前年度比6,570万5,000円、9.0%増の7億9,948万円を計上しております。後期高齢者医療制度では、給付費全体に対し1割を後期高齢者自身の保険料で賄い、残り9割のうち4割を現役世代からの支援金、5割を公費で賄うこととされております。この給付費の1割部分の保険料は、2年間を財政運営期間と定め、財政運営の均衡を図るために2年に1度給付費水準に応じて改定される仕組みとなっております。平成20年度に後期高齢者医療制度が創設され、平成24年度は2回目の改定年度になります。福岡県後期高齢者医療広域連合の試算によりますと、高齢化に伴う被保険者数や、1人当たりの医療費の増加などの要因によりまして、次の財政運営期間の保険料は現在と比較して大幅な伸びとなっております。このように医療費が増嵩しておりますが、被保険者の負担軽減を図るため、約17億1,000万円の余剰金、及び福岡県に設置されています財政安定化基金から約90億7,000万円を繰り入れすることにより引き上げ幅を抑制し、1人当たりの保険料は6.7%増の改定率となっております。

3 款繰入金は、当該特別会計の事務費、広域連合の事務費負担金及び被保険者が受ける保険料軽減額を保険基盤安定制度繰入金として一般会計から繰り入れるものでございまして、前年度に比べ1,550万8,000円、9.9%増の1億7,149万8,000円を計上しているところでございます。

次に、歳出でございます。

1 款総務費につきましては、広域連合負担金の増により、前年度に比べ7,921万9,000円、9.0%増の9億6,398万5,000円を計上しているところでございます。広域連合負担金につきましては、保険料、広域連合事務費負担金及び保険基盤安定制度繰入金の合計額からとなっております。

よろしくご審議、ご承認賜りますようお願い申し上げます、簡単ではありますが説明を終わらせていただきます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第4 議案第21号 平成24年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第4、議案第21号「平成24年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（井上和雄） 議案第21号「平成24年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」、ご説明申し上げます。

予算書は305ページとなっております。

また、先ほどと同じく予算説明資料の1ページをご参照ください。

最初に305ページでございますけど、第1条第1項保険事業勘定予算でございますが、総額は41億8,659万5,000円で、前年度と比べ6.3%増、2億4,916万6,000円の増となっております。



また、第3項の介護サービス事業勘定は総額2,490万円となっております。

介護保険料につきましては、3年ごとの見直しの時期となっております、今後3年間の標準給付費見込額から第1号被保険者の保険料基準額を設定しております。平成24年度は介護保険特別会計の9割以上を占めます保険給付費を6.9%増で見込んだ予算編成としているところでございます。

では、歳入の主なものについてご説明を申し上げます。

313ページをお開きください。

1款65歳以上の第1号被保険者保険料は8億4,328万8,000円で、前年度と比べ5.1%増、4,128万6,000円の増額となっております。

また、3款の支払基金交付金につきましては、40歳から64歳までの第2号被保険者保険料の交付金が主なものとなっております、11億9,042万1,000円、6.9%、7,698万9,000円の増を計上しているところでございます。

6款の繰入金につきましては6億7,778万7,000円で、この中には基金からの繰入金3,000万円を含んでいるところでございます。

次、314ページをお開きください。

歳出につきましては、歳出の94.3%を占めております2款保険給付費でございますけど、これにつきましては6.9%増、2億5,545万3,000円増の39億4,802万1,000円を計上しているところでございます。

3款地域支援事業費につきましては、548万1,000円を増額し、7,005万9,000円を計上いたしております。これにつきましては、施政方針でもございましたけど、平成24年度は高齢者・夜間休日電話相談業務に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、介護サービス事業勘定の歳入歳出予算でございます。353ページとなっております。

ここでは、総額では2,490万円となっております。

歳入の主なものとしたしましては、1款ケアプラン作成費などで介護予防サービス計画費収入として1,982万1,000円を計上しているところでございます。

また、354ページの歳出では、1款で嘱託職員賃金等の総務費といたしまして2,129万7,000円を計上しているところでございます。

以上が平成24年度太宰府市介護保険事業特別会計予算の主な内容となっております。よろしくご審議、ご承認賜りますようお願い申し上げ、簡単ではございますけど説明を終わらせていただきます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 議案第22号 平成24年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第5、議案第22号「平成24年度太宰府市住宅新築資金等貸

付事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（古川芳文） 議案第22号「平成24年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」、ご説明申し上げます。

予算書の361ページから372ページをご参照ください。

まず、平成24年度歳入歳出予算でございますが、予算書の364ページをごらんください。

歳入歳出ともに総額189万1,000円で、対前年比13.2%の減、金額では28万7,000円の減額となっております。

また、平成24年度の当初予算説明資料1ページをごらんください。

こちらの表では、昨年6月補正におきまして繰上償還204万8,000円を増額いたしましたので、平成23年度の金額が422万6,000円となっております、233万5,000円の減、55.3%の減ということになっております。

予算総額が減額となりました主な要因は、平成23年度に繰上償還を行ったことによるものでございます。この繰上償還により、歳出につきましては、公債償還元金及び公債償還利子が34万8,000円の減額となり、歳入につきましては、県からの住宅新築資金等補助金が6万2,000円の減額、さらに償還金が32万8,000円の減額となりますので、一般会計及び基金からの繰入金を10万4,000円増額し、歳入歳出の調整を行っております。

次に、予算書372ページをごらんください。

公債償還の現在高につきましては、平成22年度末で988万8,000円、平成23年度末で679万6,000円、平成24年度では117万円を元金償還見込みといたしておりますので、平成24年度末で562万6,000円となる見込みでございます。

なお、貸付金の償還向上につきましては、今後も個別の現状把握に努め、精力的に家庭訪問を行うなど、償還の促進と滞納者対策を図ってまいります。

以上、よろしく審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 議案第23号 平成24年度太宰府市水道事業会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第6、議案第23号「平成24年度太宰府市水道事業会計予算について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（三笠哲生） それでは、平成24年度太宰府市水道事業会計予算につきまして、その概要をご説明いたします。

水色の予算書のほうになります。

予算書1ページに書かれております業務の予定量につきましては、先ほどの本会議の中での市長の提案理由説明と重複しますので、私のほうからは4ページをお開きいただきたいと思いますが、4ページの事項別明細から、その主な内容につきましてご説明をいたします。

まず、1款1項1目の給水収益ですけれども、前年度がうるう年でしたので1日分減少となること、及び市長も説明をいたしましたけれども、節水機器の普及、あるいは節水意識の高まりによりまして、使用水量の伸び率が過去5年間の平均1.37%を大きく下回りまして、本年1月現在では0.2%程度にとどまっている状況にあることを勘案いたしまして、前年度当初予算に比べて約1,600万円減の10億9,650万7,000円の計上となっております。

次に、2項2目の加入負担金ですけれども、団体負担金の件数が予想以上に伸びておりまして、前年度より3割増の5,753万9,000円を見込んでおります。

次に、5ページの支出の水道事業費用ですけれども、本年度は前年度に比べまして5,631万3,000円増の12億6,266万3,000円を計上いたしております。この増額の主な要因につきましては、松川浄水場の2号、3号配水池を県道筑紫野・古賀線の拡幅に伴いまして除却することになります。帳簿価格の残存分約1億4,000万円を7目の資産減耗費で費用化することによるものでございます。

なお、本年度から3条予算の人件費を総係費に一元化しております。これは、職員の業務負担が各費目に特定しづらいことや、事務の効率性を高めていくことを目的としているものでございます。

次に、9ページをお開き願いたいと思います。

資本的収入ですが、収入総額は3億2,158万7,000円で、前年度より3,858万2,000円増加しております。これは、松川3号配水池の用地売却代金の計上が主なものとなっております。

次に、10ページをお開きください。

資本的支出の総額は12億4,762万4,000円で、前年度より2億3,685万7,000円の増となっておりますが、主には3目の配水施設費の工事請負費です。第六次拡張事業もいよいよ最終年を迎えますし、松川配水池も夏場には供用開始を行う予定にしております。そのほか、国分地区及び松川区万葉台地区の配水管新設工事、並びに都府楼団地等の配水管布設がえ工事費を計上いたしております。また、本年度は松川3号配水池の除却に係る起債の繰上償還を行う予定といたしております。

以上で概要説明を終わりますけれども、12ページに資金計画、13ページから15ページまで給与費明細書、16ページに継続費に関する調書、17ページに債務負担行為に関する調書、18ページ以降は予定損益計算書及び予定貸借対照表を添付いたしております。

よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

以上で概要説明を終わります。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第7 議案第24号 平成24年度太宰府市下水道事業会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第7、議案第24号「平成24年度太宰府市下水道事業会計予算について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（三笠哲生） それでは、今度は黄色の表紙の予算書になります。

平成24年度太宰府市下水道事業会計予算について、その概要をご説明いたします。

先ほどの水道事業と同じように、市長の提案理由説明と重複する部分は割愛させていただきまして、4ページの事項別明細書から、その主なものについてご説明をいたします。

まず、1款1項1目の下水道使用料は、水道事業と同様に使用水量の伸び率が減少している関係で、前年度比1,402万4,000円減の11億8,616万9,000円を予定いたしております。

2項の営業外収益につきましては、2目の他会計補助金が主な収入となっておりますが、本年度は御笠川分の高資本費対策経費が期限切れとなった関係で、前年度より6,707万7,000円減少いたしております。

5ページからの支出ですけれども、1項営業費用は10億6,825万9,000円で、前年度より2,162万7,000円の増となっております。これは、下水道の建設に伴って5目の減価償却費が増加すること、及び6目の資産減耗費については、県道筑紫野・古賀線あるいは奥園雨水幹線の建設に伴って、下水道管の布設がえが必要となったことによる除却費の計上が主なものとなっております。

次に、8ページの資本的収入です。

収入総額は8億4,163万4,000円で、前年度より1億8,347万1,000円の減となっております。この主なものとしたしましては、建設改良費の財源となります1項の企業債及び2項の国庫補助金が減少しているものでございます。5項の他会計補助金は1,466万6,000円増加いたしております。

次に、9ページの資本的支出ですが、支出総額は16億2,397万9,000円で、前年度より1億8,419万円の減となっております。

本年度の建設改良事業でございますが、北谷及び内山地区の污水整備を推進するとともに、前年度に引き続き奥園雨水幹線築造工事を実施してまいります。

次に、10ページの3目固定資産購入費でございますが、本年度は奥園雨水幹線に伴う用地費や企業会計システムのソフトなどで1,742万2,000円を計上いたしております。

次に、企業債償還金につきましては、前年度とほぼ同額の10億9,627万8,000円を計上いたしております。償還のピークは平成25年度を予定してございまして、以後は減少してくる見込みといたしております。

以上で概要説明を終わりますけれども、11ページ以降、資金計画、給与費明細書、債務負担行為に関する調書、予定損益計算書並びに予定貸借対照表を添付いたしております。

よろしくご審議いただきますようお願い申し上げまして、私の概要説明を終わらせていただきます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

以上をもちまして各会計の概要説明は終わりました。

次回は、3月13日火曜日午前10時から再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） これをもちまして本日の予算特別委員会を散会します。

散会 午後1時39分

~~~~~ ○ ~~~~~